

<市民参加関係>

1) 市民意向調査

1. 調査概要

市民の市政に対する評価や要望等を把握し、市民の意向を十分に反映した総合計画づくりを進めるための基礎資料を得ることを目的として実施。

- ・対象：18歳以上の市民4,000人
- ・期間：平成30年8月24日（金）から9月10日（月）まで
- ・有効回収率：32.2%
- ・調査結果：市民意向調査報告会を開催するとともに、概要を広報いわくら3月号に掲載

2) 市民討議会「キラッ！とまちづくり原石発掘会議」

1. ねらい

- ・若者や子育て世代、転入などで近年に住民となった方など、これまで行政や地域との関わりが希薄だった市民を含めた幅広い市民から多様性のある意見を把握する。
- ・今後のまちづくりの新たな人材を発掘する。
- ・次年度の「市民まちづくり会議」につなげるための素材（議論の素材）づくり・機運醸成。

2. 開催概要

- ・日時：第1回 2月16日（土）／ 第2回 3月16日（土） 各回10:00～16:00
- ・場所：市民プラザ 多目的ホール
- ・参加者：1日目 52人（外 若手職員PT 4人） 2日目 47人（外 若手職員PT 8人）
- ・一般市民がイメージしやすい次の4つのテーマを示した。
 - ①「健幸（康）長寿社会の実現」について
 - ②「安全・安心なまち」について
 - ③「子育て・教育環境の充実」について
 - ④「にぎわいと活力あふれるまち」について
- ・成果：2日間の討議の成果として、12の「未来新聞」が出来上がった
※未来新聞を市役所市民ギャラリーで展示（5月20日（月）～26日（日））

3) 関係団体グループインタビュー（令和元年5月～6月）

1. 目的

総合計画の策定にあたり、日頃から様々な分野で活動されている各種関係機関・団体の皆さんから、現在の事業・活動の状況や今後の展望、今後の岩倉市のまちづくりなどについての考えなどを聴取し、総合計画の策定に必要な資料を得ることを目的に実施。

2. 対象

対象団体を各課の推薦により決定し、47団体に呼びかけ、8グループを分けて実施。
42団体、91人の市民が参加。

3. 結果

取りまとめ中。

4) 総合計画審議会（令和元年8月～令和2年11月）

総合計画における基本構想及び基本計画の策定等の審議を行うための附属機関。

- ・委員の委嘱：委員は15人以内で識見者及び公共的団体の代表者等で構成
- ・審議内容：今年度は、市民意向調査や実績評価の結果などの報告を中心に3回実施予定
次年度には、基本構想及び基本計画（案）を諮問し、答申を受ける予定

5) 市民まちづくり会議（令和元年8月～令和2年2月）

「まちづくり戦略（≡次期総合戦略）の素材の検討」と「（仮称）協働まちづくりプロジェクト」の試行などを所掌としていくことで検討中

- ・参加者：40人程度で、市民討議会の参加者、市民委員登録制度、関連する活動を行っている市民活動団体などに公募や若手職員PTメンバーを加える
（第4次策定では「将来の暮らしの姿の構想」と「協働まちづくりプランの提案」を所掌）

<市内部関係>

6) 総合計画策定会議（平成30年6月～）

市長、副市長、教育長始め部長級で構成する会議で、主に方針の決定をするため、進捗状況に合わせて随時開催。

7) 総合計画策定委員会（平成31年4月～）

総務部長を委員長として、課長級から統括主査級の職員46人で構成し、計画策定のための調査研究、素案の調整、修正、決定を行う実務を行う会議で随時開催。

8) 若手職員PT（平成31年2月～）

若手職員10人で構成し、市民討議会や市民まちづくり会議に参加し、市民との信頼関係を構築するとともに、自ら提案したプロジェクトを具体的な取組につなげていくことを検討中。

9) 現行施策の実績（総括）評価（平成31年3月～令和元年7月）

毎年実施している単年度の施策評価を第4次総合計画の総括評価につなげるために、中間評価を踏まえた8年間の実績評価として行う。現行施策の成果や課題の抽出及び共有が最重要。

市内部で評価確定後、総合計画審議会にも報告予定。

10) その他

総合計画をテーマに小学校区での地区懇談会や企業懇談会の実施についても検討中。また、未来のまちづくり人である子どもたちから意見を聴く機会を設ける方向で検討中。